

メキシコにおける原理主義運動の現状

原 稔

序文

世界中を恐怖に落とし入れた2001年9・11同時テロ発生後も継続して欧米諸国が蒙っている「テロ被害・恐怖」状況から、テロ行為は特定宗教の原理主義を固持する過激派グループによりおこなわれているという固定的イメージがある。原理主義という言葉の幾つかの解釈を見ると、「宗教で近代合理主義を批判し、教義の根本に戻ろうとする復古主義的な立場」、「簡略に、宗教の根本主義の意味」、或いは、特定の宗教に限定し、「キリスト教で聖書は無謬であり、天地創造、処女懐胎等の根本教義は真実であると信じて、神学批評に関する近代主義や合理主義を排除しようとする立場などがある。1920年代、アメリカ合衆国のプロテスタント諸派の運動。他の宗教や思想において、これと同様と見られる傾向も原理主義、根本主義と言う」、イスラム教に関しての解釈は「イスラム教の原理を現実の社会に適用しようとする急進主義で主にイスラム復興を目指す過激派を指す」といった解釈がされている。イスラム原理主義という言葉は1979年のイランのイスラム革命以来、広く知られるようになった。当初のイスラム原理主義は19世紀末にイスラムの教えの原点に戻ろうとする精神的、暴力を伴わない回帰運動であった。第二次世界大戦後に独立を果たしたイスラム諸国は貧富の差の拡大による社会的矛盾が顕著になり、イスラム教から外れた社会を正しい姿に戻そうとする運動が活発になった。その最初の武力行使の成果がイラン革命である。革命前のパーレビ国王は親米、資本主義傾向近代化路線を取っており、社会的差別に反対して国外追放されたホメイニ師が革命を起

し国王を追放した。イラン革命の成功に影響され、イスラム原理主義者の一部は更に過激な思想を持ち、武力闘争によりイスラム政権を樹立しようとする動きや反米武力闘争が「聖戦」であるといった考えも生まれ、幾多の無差別テロが世界各地で繰り返されている。イスラム原理主義の解釈は多岐に渡り説明が困難なことからその方面の専門家の分析に託し、ここでは記載しない。

上記の諸解釈に沿い、最初にイスラム原理主義を誘発したとされるアメリカの原理主義の運動や影響を見て、その後、メキシコ合衆国における原理主義（というものが存在するのであればとの見方から）の政治・社会への影響、将来の行方を調査することにした。

1. アメリカ合衆国における原理主義

アメリカ合衆国（以下、米国と記載）の原理主義は宗教運動である。19世紀末主にキリスト教プロテスタント諸派が近代思想に適合する為の信仰内面調整から始まった。聖書の内容が近代社会に受け入れられない状況下で聖書の内容に新たな解釈を用いる必要が生じた。1910年以降、プロテスタント諸派は『信仰の原理』と題する伝統主義を擁護する文書を執筆し、それが独立した運動に発展していく。伝統主義諸派は最初は独自の組織内での指導であったが、その後、世界キリスト教原理主義教会といった幅広い組織運動になり、聖書解釈の観点からプロテスタント諸派の分裂に拍車がかかる結果となった。

この原理主義運動は具体的な思想や運動原理を定めている。顕著な信仰を標榜する宗派は、時代に逆行して聖書の絶対性を主張し、ダーウインの進化論については、それを否定するだけでなく、神に対する冒瀆であると定めている。他の宗派では、『最終審判』の前に世界が悪化するので政治的な行動をとるべきといった思想を中心とする宗派もあり、病気になっても信仰で直る、輸血も禁止といった宗派も存続している。

原理主義の行動原理は分離性である。右派、左派であれ過激的運動は他の宗派や宗教と離反し攻撃的になり、原理主義を標榜する幾多のプロテスタント諸派はカトリック、モルモン教やユダヤ教、その他の宗教と対立することになっ

た。しかしながら、資本主義、民主主義の展開や極端な禁欲主義の反発等がプロテスタント原理主義者達の運動を制限することになり、イスラム教のように国家レベルでのナショナリズムに成長することは無いとされているが、21世紀の現在でも中心的な政治指導者の政策決定にキリスト教原理主義の思想が反映されることも見られるとされている。一時期、原理主義者達が敗北した理由は1930年代の酒消費禁止に関する論争であった。酒の禁止はマフィア、組織犯罪を生み出す結果になり、政治管理による制度的発展に伴い原理主義運動が低迷することになる。1950年代になると、新たに共産主義に対抗する「キリスト教十字軍」、「アメリカの絆」、「キリスト教反共産主義十字軍」といった政治的色彩が濃い宗教運動が活発になる。1970年代以降、特に旧ソビエト連邦崩壊後、自国の強固な経済的地盤を元に、米国の原理主義プロテスタント諸派は中南米諸国に着実な布教活動を展開することになる。

(「ラテンアメリカの宗教変遷」に関しては『東洋哲学研究所紀要』第22号、2006年12月25日発行を参照)

2. 新規キリスト教右派

キリスト教原理主義は一連の社会変革の影響から1970年代に再び活発化する。ベトナム戦争反対、世界と連動した学生運動、避妊剤による性の解放、ホモ、レズの権利主張等のこれまで隠されてきた精神面の解放が新しいキリスト教右派と呼ばれる保守主義派の運動を誘発し1980年のレーガン大統領選出に影響する勢力になっている。ただし、1992年、右派が支援した Pat Buchanan は George Bush に敗北しており、政治的な影響力は弱体化しているとされるが共和党内の一部勢力としての潜在力は温存している。結論としては米国の原理主義は運動が進むほど世界との分離性が顕著になり、政治-特に外交政策に多大な影響をもたらすことになる。世界の現状としては近代民主主義が主体であり多様性が重視される環境からいかなる宗派であれ原理主義は文化的な観点や良識に阻止される傾向が見られる。つまり、右派宗派は他の文化的少数集団の権利を尊重することが要求されている。

3. 原理主義諸派の比較

キリスト教、或いは仏法であれ、その他全ての宗教にはその時代に適用しようとする作用と並行して常に保守的、伝統重視の要素がある。原理主義の観点からは全ての社会が独自の教義に従うべきことを要求するので、その実現の為に時に過激な手段を講じる場合がある。この意味から原理主義運動を生み出す潜在力により宗教や宗派の違いをより明確に区分することも出来よう。原理主義潜在力を顕著に持つ宗教は、唯一の神を信奉するイスラム教であり、キリスト教諸派の中ではプロテスタント福音派とされている。これらの宗教に対抗出来るのではないかと見直されているのがヒンズー教と仏教である。勿論、ヒンズー教や仏教主体諸国でも独自の国家主義運動が活発になりつつあるが、その運動の根拠は各宗教の原理主義が考慮されている場合が多い。ただし、現在までヒンズー教、仏教の政治運動はイスラム教やプロテスタント原理主義ほど攻撃的でも、強力でもない。これらの宗教が穏健な理由は人間を重視する教義自体の内容に拠っている。この意味から唯一神を信仰する宗教ほど原理主義の潜在力が強く、他宗教、他宗派との衝突が不可避であることが理解される。しかしながら、唯一神信仰と言うだけで原理主義を標榜しているのかを判断するのは難しい。と言うのは、同じキリスト教でもカトリックの場合1970年代に、拡大するプロテスタント諸派に対抗する為に、カトリック教会内部で保守派の幾多の動きがあり、自由主義解釈の拡大や Opus Dei に代表される信徒参加の布教拡大運動が起こっているからである。これらの運動は比較的穏健に進行したとされるが、中南米では「解放の神学」といった過激派を生み出し、メキシコのチアパス州で発生したゲリラグループが民衆支配の精神根拠に用いて、最終的には布教を伴う武力闘争正当化理論になっている。

米国と大部分の中南米諸国の憲法は政治と宗教の分離を規定しているが、個人の信仰の自由を保証しているので、常に指導者が信仰する宗教の教義が政治に反映されていることはいつの時代でも明白である。現在では、指導者が信仰を深めれば深めるほど、敬虔になればなるほど、その宗教の独自の教義にはま

ることになり、それが外交関係や国際社会に影響を及ぼしていると言う事実が存在している。イスラム教やキリスト教福音派等の原理主義を全面に押し出せば、武力衝突となる場合が多いと言う事実を見れば、その種の原理主義を主導する他のシステムの必要性が検討されてくる。

4. 原理主義の行方

上記の観測から原理主義が現代世界に及ぼす影響が多大であったことから、今後もその傾向は存続、ないし増加する可能性が高いという推測がある。しかしながら、イスラム原理主義過激派の場合、イラン革命成功後、イスラム諸国の国家主義を超えたイスラム革命を武力で輸出しようとしたが、失敗している。豊富な資金を持つ過激派による反欧米テロ活動は継続するかもしれないが逆にその過激さが世界の支援を失う結果にもなっている。同時に欧米のキリスト教原理主義も自由化の波に逆らえないようにイスラム過激派に対する勝利は期待できない。中南米諸国における布教拡大という点では大きな成功を収めているが、原理主義が目指す社会改革までの勢力には至っていない。更に消費社会の拡大により原理主義ベースの質実剛健の生活が若い世代に受け入れられない状況や、男女平等意識、女性の職場拡大により、原理主義を標榜する宗派が他の宗派よりも離婚率が高いと報告されている実情も見逃せない。家庭の崩壊は組織の崩壊に通じることから、極端な原理主義適用は将来的に組織運営自体がいきずまると予想されている。例として、1970年代、キリスト教右派を代表する活動家として知られるカルビン神学の擁護者であった Franky Schaeffer ですら、1980年代にはプロテスタント諸派連合組織に失望しプロテスタント信仰を捨て、ギリシア正教の信仰を選択している。

5. メキシコ合衆国における宗教団体の政治への影響

本研究は政治や社会に直接影響を及ぼす原理主義の観点から調査しているので、それぞれの原理主義教義の吟味も必要であるが、実際の組織活動状況を把握することがより重要であると考ええる。メキシコの場合、宗教が政治、社会に

多大な影響を与えてきた歴史があり、現状、及び将来の行方を推測する観点からの調査を主体とした。

メキシコ合衆国（以下、メキシコ）の政治体制は立憲民主主義、三権分立に基づく連邦共和制で米国の政治体制と類似しているが、大統領の権限は州知事罷免権が付与されているなど、米国以上に強大である。メキシコの政治は2000年まで過去60余年、PRI（制度的革命党）により独占されて、それなりの経済発展を遂げつつも、一大政党内部の権力争いでの腐敗や権謀、大統領候補者暗殺事件等で国民の支持が低下する。1990年代になり、最初に政府に非難の声をあげたのはバチカン法王庁と外交関係を復活したことから、自信を取り戻したと言われるカトリック教会である。更に勢力を拡大しつつあったプロテスタント諸派も呼応し、その豊富な資金や信仰指導力を背景に、憲法で政治と宗教の完全分離が定められているにもかかわらず、幾つかの宗教色の濃い政治結社が生まれた。（1992年、Lerdo de Tejada 同盟、1996年、全国改革戦線等、しかしこれらの政治結社の活動も PAN 政権以来、ほとんど消滅している）つまり、メキシコにおいては、政治的にはカトリックもプロテスタント諸派も協調して政府に寄り添うスタンスになっている。

又、1992年7月13日に制定された「宗教団体・公的信仰法」で政府、他の宗教、他宗派の非難、攻撃が禁止されていることもあり、政府の介入がないことの引き換えに全ての宗教団体は政府を非難出来ない制度になっている。PRI 政府は、この法律でそれまで憲法で禁止していた教会の不動産所有を許可したり、外国人祭司の入国許可、個人の家での自由な会合拡大等で教会を選挙支持団体として取り込もうとした意図がみられた。2000年の大統領選挙も、これまで同様に PRI 政権続行という大方の予想であったが、選挙の間際に米国のマスコミが、「政権交代の可能性が生まれている」と報道し、キリスト教団体が支援する PAN（国民行動党、中道右派）選出の元グアナファト州知事の Vicente Fox Quesada 氏が PRI 候補と僅少の差でまさかの当選となった。選挙後、PRI は憲法で禁止されている宗教団体の政治介入ということでカトリック、プロテスタント諸派を非難したが、選挙の結果を覆すことは出来なかった。その後、大統領任期、

絶対再選禁止の6年間が経過し、再度、2006年12月1日より2012年11月末まで、Felipe Carderon Hinojosa 率いる PAN 政党の継続となった。

現在、原理主義がメキシコの政治体制に影響を与えたとされるのは「解放の神学」を標榜するメキシコ南部チアパス州の「サパティスタ国民解放軍」ゲリラ活動だけと見られている。他に、石油パイプを爆破したとされるベラクルス州やゲレーロ州のゲリラ活動もあるが、彼らの住む地域の自治要求だけで宗教的な背景はないと報道されている。

6. PAN（国民行動党）の支持基盤 — Yunqueの原理主義

60余年に及ぶ独裁政権を維持していた PRI（制度的革命党）の支持基盤は、労働組合、公務員組合、及び教職員組合であった。PRI は長年、憲法の政教分離方針を取らざるを得ず、カトリック教会との紛争問題もあった。しかしながら1970年代より宗教団体に寛大な政策を取り入れ、その結果、カトリック、プロテスタント諸派の布教が進展し、一般市民と教会との連携が進展する状況が顕著になった。PRI と比較して、PAN（国民行動党）の支持基盤は、主にキリスト教組織と経営者グループである。一般市民の宗教団体からの呼びかけと政治的腐敗を露呈した PRI に見切りをつけた票の多くが2000年の大統領選挙でキリスト教の敬虔な信者であるとアピールした Fox 候補に流れたとされる。では、2006年の大統領選挙でも再度、PAN の政権継続を導いた原因は何であったのかを調査する必要がある。

PRI の最大の支持基盤が最大の労働組合 CTM（メキシコ労働総同盟—組合員数約7百万人）であったのと同じく、PAN の支持基盤は Yunque（文字どおりでは、「鉄床」、転じて「不屈の人」と呼ばれる宗教意識の強固な組織である。Yunque 指導者層は政治家よりも議員秘書や官僚経験者が多数を占めている。基本政策はカトリックやプロテスタント諸派の教義を幅広く受け入れており、独自の原理主義的な教義はないとされる。つまり、原則的にキリスト教であれば、政治目的を基本にどの宗派も集合していこうとする政策を進めている。従って、テロを予想させるような過激性は無いとされているが、現政権に密着した組織であ

(160)

る以上、メキシコの政治、社会に大きな影響を及ぼす原理主義組織であるとする見方もある。

7. シナルキスト（天命派）の新政党設立

Yunque が現在、取り込もうとしているのは既存の政党を批判し、新たな宗教政党設立をキリスト教徒に呼びかけている「天命派」と呼ばれる宗教組織である。

同組織は、2006年の大統領選挙で蒙った政治的損傷の結果として「連帯参加運動政党」（スペイン語略称—MPS）を発足させ、Internet Homepage で青年層を中心としたキリスト教徒の参加を呼びかけている。その政策行動の中で、票買収、無イデオロギー、政策理想無しで政府の都合で結成された政党として PRI を痛烈に批判している。野党第二党の PRD（民主革命党）についても明確な政策案も持たない単なる左派集団に過ぎないと表明している。特に PRD がメキシコ市の政権を担当していることから、「メトロポリタン地域の宗教を絶滅しようとしている」と激しい表現で攻撃している。PANに関しては、2000年の政権担当以来政党の原則を適用していないとの批判を述べている。つまり、2006年の大統領選挙で再度 PAN が政権を担当することになったが、PAN と政府が以前のPRI同様に恒常的に政権を継続しようとしている、党独自の結党原則が履行されていないといった批判である。この組織の運営者達は既存の政党は時代遅れの原則や方針を保持しているので市民の為の政策を作成することが出来ない、このままだと投票棄権になると警告する。よって、メキシコ国民の為に明確に認識された原則に基づいた新しい政策を提供することが不可欠であると述べる。PAN 政策も否定しているが、実際にはこの新政党の原則は、生命や家族の保護、人格、共通の財産、連帯といった PAN 政党の基本理論と合致している。つまり、一見すると全ての政党を批判する新政党路線であるが、右翼思想とキリスト教民主主義に基づく組織として MPS は連合することになり、Yunque が PAN 以上の右翼思想の政党支持組織として MPS を取り組んだことになる。この MPS の基本的宗教思想は生命の保護—受胎から自然死の擁護であり、国民の40%以上

が右翼思想であり、残りは特定政党に傾倒していないと述べる。信仰を持つ人々の多くは、伝統的価値、命や家族の大切さを信じているが、どの政党も批判されることを恐れてそれらに手を添えようとはしない、信仰者の声は非常に幅広く必要であることから、国家の最重要事項決定の為に聞いてもらう為の政党となるとして全て宗教的信念からの運動であるとしている。基本要素として貧困撲滅を全ての場で主張し、政府の不履行を批判していく。政府、国会への具体的な提示としては、道徳的、宗教的信念に沿い、両親が子弟の受ける教育の種類を選ぶ権利を保障する為の憲法第3条の改訂を目指している。この新政党結成の動きは PAN 議員や天命派指導者により準備され2009年の選挙から発足させたいとしており、2007年8月11日から同年12月9日迄、全ての州で集会参加を呼びかけている。この新政党設立の動きが現状で注目を浴びている理由のひとつは海外での類似の極右宗教政党が選挙での成功を収めて、それぞれの国で社会に影響を与える勢力に成長しているからである。

(ドイツの CDU 政党、ハンガリーの Fidesz 政党、ポーランドの法と正義政党、カナダの保守主義政党、フランスの UMP、イタリアの全国同盟)

与党 PAN は公にこの動きを支援する為に本来、憲法で禁止されている政治の宗教介入禁止に反して、「政治と宗教の境目を明確に区分しなければならない」、「政治が宗教を操作するのは間違いである」、「お金を守りたい者は銀行に行けばよい、魂の救済を求めるならば教会に行く事が出来る」といった MPS 擁護の発言を述べている。つまり、政党代表者のグアダルーベ寺院参拝が頻繁に報道される等、事実上、PAN は右派キリスト教政党に変化していると言う事実を公に誇示しているようである。

8. 原理主義者との対話の必要性

本稿では、一般的に、原理主義が将来的にはより閉鎖的になり、内在力や蓄積力が外部に向けられる時には、テロ活動、或いは政治活動に走る状況が生み出されると記載した。勿論、一般の宗教諸派は元来の平和主義を標榜して平和、文化、教育、人権擁護を宣揚している場合も多い。

(162)

テロ活動の場合、対話は成立せず、国連や世界各国の軍備による予防や対抗とせざるを得ないし、現状はそのとうりになっている。その反面、政治活動と結びつく場合は、世界各国で異なる形態を生み出すことになる。中南米諸国に限定すれば、国民の大部分はカトリック、及びプロテスタント諸派の信者が圧倒的数を占めているので、イスラム社会にあるようなテロに走る過激宗派は発生しないと理解されている。その意味から、ラテンアメリカ諸国は世界平和に貢献する多大な役割を持っているとの見方が出来る。その為には、キリスト教諸派自体がイスラム世界とも協調出来る教義を取り入れる必要がある。具体的には、仏教団体やその研究機関がその平和思想理論を樹立し、幅広く各宗教、宗派と対話を行い、人権や生命の尊重価値を共有する社会樹立を提示していくことだろう。その意味で、各宗教団体や研究組織が開催している宗教会議の参加、討論や論文発表等の地道な活動や国連と協調した平和運動が世界的なレベルで評価される時期が到来することが期待される。

参考文献：本稿作成には主に PAN（国民行動党）議員からの説明を要約した。

原理主義に関する書籍として以下を参考としている。

Steve Bruce著、Fundamentalism, Blackwell Publishing Ltd.Oxford.2000

（はら みのる・委嘱研究員）

Fundamentalism: Influence on Mexican Politics and Society

Minoru Hara

Because of continuous violence in the world after the 9.11 terrorist attacks in New York, the simplistic idea that terrorism is caused by a group of people holding fundamentalist views of a specific religion, particularly Islam, has become prevalent.

This text shows a brief history of the influence of the Catholic and Protestant ideas on Mexican politics. The ex-monopolitic party PRI, which held power for seven decades, lost to PAN in 2000 and 2006. The base supporters of PAN belong to an organization called Yunque (anvil, tireless worker) and are supported mainly by Catholic, Protestant sects and business owners. Yunque wants to keep PAN in power so that it can keep in check new political parties which are based on fundamentalist views such as the one supported by the Sinarquist. This new type of political party is similar to those that already exist in Germany, Hungary, Poland, Canada, France and Italy.

In conclusion, fundamentalism generally leads religions to separate from society and in extreme cases incorporates the use of violence as a form of religious expression, but there is another kind of fundamentalism that leads religions to seek the promotion of peace, culture and education and exert a positive influence on society. Since a majority of the population is Christian and are accepting of most other religions, many favorable conditions in Latin America exist for it to fulfill its mission to contribute to world peace.